

作成日 2017/11/20 改定日 //

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: ボンフロンパレストーン中塗

種類: アクリル樹脂エマルション系中塗材

製造会社

会社名: AGCコーテック株式会社

住所: 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地

担当部門: 技術本部 CSR室 江澤 孝行

電話番号: 03-5217-5104

FAX番号: 03-5217-5106

緊急連絡電話番号: 03-5217-5104

整理番号: 1225870112301

用途: 建築用下地着色材

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

| | |
|-------------------|----------|
| 急性毒性—経口 | : 区分外 |
| 急性毒性—経皮 | : 区分外 |
| 急性毒性—吸入(気体) | : 分類できない |
| 急性毒性—吸入(蒸気) | : 区分外 |
| 急性毒性—吸入(粉塵/ミスト) | : 区分外 |
| 皮膚腐食性/刺激性 | : 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷性/刺激 | : 区分2 |
| 呼吸器感作性—固体・液体 | : 区分外 |
| 呼吸器感作性—気体 | : 分類できない |
| 皮膚感作性 | : 区分1 |
| 生殖細胞変異原性 | : 区分外 |
| 発がん性 | : 区分2 |
| 生殖毒性 | : 区分2 |
| 母乳に対するまたは授乳を介した影響 | : 分類できない |
| 特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) | : 区分外 |
| 特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) | : 区分外 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 区分外 |
| 水生環境急性有害性(急性) | : 区分2 |
| 水生環境慢性有害性(慢性) | : 区分3 |

GHSラベル要素:

絵表示シンボル:



注意喚起語 警告

危険有害性情報:

- ・ 皮膚刺激
- ・ 重篤な眼への刺激
- ・ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 発がんのおそれ
- ・ 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・ 水生生物に毒性
- ・ 長期的影響により水生生物に有害

注意書き:

安全対策:

- ・ 本来の用途以外に使用しないこと。
- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。

- ・すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
- ・粉塵/ビューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入を避けること。
- ・取扱後は手洗い及びうがいを十分に行うこと。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- ・汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出すこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・適切な保護手袋/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用すること。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用すること。

応急措置:

- ・皮膚等に付着した場合は多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・曝露または暴露の懸念がある場合は医師の診断/手当を受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けること。
- ・緊急の解毒剤の投与が必要な場合は直ちに特別処置を実施する。
- ・皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診断/手当を受けること。
- ・汚染された衣類は再使用する場合には洗濯すること。
- ・粉塵/蒸気/ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けること。
- ・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理すること。

保管: 施錠して子供の手の届かない所に保管すること。

- ・容器を密閉し、日光の直射を避け、換気の良い場所に保管すること。

廃棄: 内容物/容器を、廃棄する場合は、都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

- ・内容物/容器は、産業廃棄物として許可を受けた産業廃棄物処理業者に廃棄を委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分: 混合物

化学名または一般名:

化学特性(化学式等):

毒物及び劇物取締法: 該当せず

成分:

| 成分名 | CAS.No. | 含有量(%) | 安衛法 通知物質 | 毒劇法 | PRTR法 |
|------------------|------------|--------|-------------|-----|-------|
| アクリルスチレン樹脂エマルジョン | 非公開 | 25~35 | — | — | — |
| フタル酸ジ-n-ブチル | 84-74-2 | 0.1~1 | ○ | — | 1-354 |
| 炭酸カルシウム | 471-34-1 | 15~25 | ○ | — | — |
| 酸化チタン | 13463-67-7 | 5~10 | ○ | — | — |
| カーボンブラック | 1333-86-4 | 0.1~1 | — | — | — |
| フタロシアニンブルー | 147-14-8 | 0.1~1 | ○ | — | — |
| オキシ水酸化鉄 | 20344-49-4 | 1~5 | — | — | — |

4. 応急措置

吸入した場合:

- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。
- ・大量の水および石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
- ・外観に変化が見られたり、刺激痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を取り除くこと。

目に入った場合:

- ・直ちに、大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
- ・出来るだけ早く医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合:

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。
- ・嘔吐物は飲み込ませないこと。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

応急措置をする者の保護:

- ・適切な保護具(防護メガネ、防護マスク、手袋等)を着用すること。
- ・換気を行うこと。

5. 火災時の措置

消火剤: 水、炭酸ガス、粉末、泡、乾燥砂、その他

消化方法:

- ・この物自体は不燃性で火災の危険性はなし。但し、水が蒸発した残分は可燃性である。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル)を着用する。
- ・周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項:

- ・河川等へ排出され、環境への影響をおこさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法/機材:

- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をすること。
- ・スコップ・ウエス等で回収する。
- ・大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。
- ・水での洗浄なども、河川等への排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:

- ・換気の良い場所で取り扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・取り扱い後は手・顔等を良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。
- ・皮膚、粘膜または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
- ・過去にアレルギー症状を経験している人は取り扱わないこと。

保管:

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風のよいところに保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

- ・屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用し、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられる設備にすること。

保護具:

呼吸器の保護具:

- ・防毒マスクを着用する。

手の保護具:

- ・有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

目の保護具:

- ・取扱いには、保護眼鏡を着用すること。

皮膚及び身体の保護具:

- ・取り扱う場合は、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

管理濃度/許容濃度:

| 化学物質名 | ACGIH_TWA ppm | ACGIH_TWA mg/m ³ | skin |
|-------------|---------------|-----------------------------|------|
| フタル酸ジ-n-ブチル | — | 5 | |
| 炭酸カルシウム | — | 10 | |
| 酸化チタン | — | 10 | |
| カーボンブラック | — | 3.5 | |
| フタロシアニンブルー | — | 2 | |
| オキシ水酸化鉄 | — | 10 | |

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 : 液体
色 : 青色・緑色系統

| | |
|-----------------|-----------------|
| 臭い | : 僅かなアンモニア臭 |
| pH | : 8~9 |
| 融点/凝固点 | : 情報なし |
| 沸点、初留点、沸騰範囲 | : 情報なし |
| 引火点 | : なし |
| 自然発火温度(発火点) | : 情報なし |
| 燃焼性(固体、ガス) | : 情報なし |
| 燃焼または爆発範囲の上限/下限 | : 情報なし |
| 蒸気圧 | : 情報なし |
| 蒸気密度 | : 情報なし |
| 蒸発速度 | : 情報なし |
| 比重(相対密度) | : 1.3~1.6 (20℃) |
| 溶解度 | : 水で希釈可能 |
| n-オクタノール/水分配係数 | : 情報なし |
| 分解温度 | : 情報なし |

10. 安定性及び反応性

安定性(危険有害反応可能性):

- ・ 通常条件では安定。

避けるべき条件:

- ・ 特になし。

混触危険物質:

- ・ 特になし。

危険有害反応可能性:

- ・ 特記すべき反応性はなし。

危険有害な分解生成物:

- ・ この物自体は燃えないが、塗膜が燃えた場合はCO等の有害性ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:

フタル酸ジ-n-ブチル

| | | |
|----|------------------|--------------|
| 経口 | LD ₅₀ | 6300 mg/kg |
| 経皮 | LD ₅₀ | >20000 mg/kg |
| 吸入 | LC ₅₀ | >15.68 mg/l |

炭酸カルシウム

| | | |
|----|------------------|------------|
| 経口 | LD ₅₀ | 6450 mg/kg |
|----|------------------|------------|

皮膚腐食性/刺激性:

フタル酸ジ-n-ブチル : 区分3

眼に対する重篤な損傷/刺激性:

フタル酸ジ-n-ブチル : 区分2B

酸化チタン : 区分2B

呼吸器感作性又は皮膚感作性:

フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1

発がん性:

カーボンブラック : 区分2

生殖毒性:

フタル酸ジ-n-ブチル : 区分2

特定標的臓器/全身毒性-単回暴露:

フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1(腎臓、神経系)

: 区分3(気道刺激性)

酸化チタン : 区分3(気道刺激性)

特定標的臓器/全身毒性-反復暴露:

フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1(呼吸器)

: 区分2(精巣、肝臓)

カーボンブラック : 区分1(肺)

組成物に関する有害性情報:

- ・ 皮膚に付着したままにすると、炎症を起こす場合がある。

12. 環境影響情報

- ・生態毒性 : 情報なし
- ・残留性・分解性 : 情報なし
- ・生体蓄積性 : 情報なし
- ・土壤中の移動性 : 情報なし
- ・成分の水性環境有害性情報(環境有害物質を対象)
 - 水生環境有害性(急性毒性):
 - フタル酸ジ-n-ブチル : 区分1
 - 水生環境有害性(慢性毒性):
 - 酸化チタン : 区分4
- ・その他の環境影響情報
 - ・漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
 - ・製品や洗浄水を川や排水溝に直接流れないように対処すること。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- ・排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。

汚染容器および包装:

- ・空容器は内容物を完全に除去してから処分する。
- ・許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。

14. 輸送上の注意

共通

- ・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
- ・容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

| | |
|------|--|
| 陸上輸送 | : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。 |
| 海上輸送 | : 船舶安全法に定めるところに従うこと。 |
| 航空輸送 | : 航空法の定めるところに従うこと。 |
| 国連番号 | : 該当なし |
| 指針番号 | : 該当なし |

15. 適用法令

労働安全衛生法:

- ・第57条の2 通知対象物

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法):

- ・第1種指定化学物質

16. その他の情報

引用文献:

- ・日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」
- ・オーム社「溶剤ポケットブック危険防災救急便覧」
- ・危険防災救急便覧
- ・国際化学物質安全カード(ICSC)
- ・(社)日本塗料工業会編「GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック[混合物(塗料用)]」
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) 公表データ
- ・各原材料製造会社発行「製品安全データシート」

その他:

- ・このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたので、通常の実施を前提としたものです。
- ・記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。
- ・このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。

- このSDSは、国の規制を含む(社)日本塗料工業会の基準に基づいたものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませんので、当該自治体の規制に従って対処して下さい。
- 危険有害成分の濃度(%)表示の幅記載は「以上～未満」をい示しています。
- PRTR該当物質については、1, 2種は1%以上、特定1種0.1%以上の場合に対象となります。
- PRTR2種については、国(事業所管轄大臣)への報告は不要です。